

移植前後の管理

苗の生育は平年並で、概ね順調に生育しています。
 向こう1週間(5/16~5/22)は、平年並から高い気温が予報されています。
 移植までは、苗の徒長や苗立枯病の発生に注意しましょう。

1 5月15日現在の生育状況（檜山南部管内生育状況調査、中苗・密播中苗ふっくりんこ）

	草丈(cm)	葉数(葉)	特記事項
令和5年	10.5	2.4	苗の生育は概ね順調です。
平年値	10.3	2.3	
差	0.2	0.1	

2 移植に向けて

- (1) 近年ハウス内温度は上昇傾向にあり、草丈が伸びやすくなっています。移植時草丈の目標は10~12cmです。本葉2.0葉以降の温度管理は20℃（夜温目安10℃以上）が目安であり、昼夜ハウスを解放して積極的に外気に慣らすようにして下さい。
- (2) 移植2日前頃からは、たっぷりかん水し、白根を出してから移植すると活着が良くなります。
- (3) 育苗日数は30日程度を目標とします。止むを得ずに35日以上になる場合、老化苗対策として、追肥を検討して下さい（時期は移植の3~5日前まで、ただし育苗ロング肥料を使用している場合は基本的に不要）。
- (4) 移植の植付け深度は2cmを目指しましょう。深植えは活着・分けつを抑制します。

3 移植後の水管理

- (1) 苗の活着限界温度は11~13℃とされています。入水は夜間から早朝に行い、日中は止水にして、水温を確保しましょう。
- (2) 徒長・老化・病害が発生した苗は、健苗と比べ活着や分けつが劣るため、特に水温の確保が重要です。
- (3) ほ場に高低差があり苗が水没する場合は、2~3日ごとに水深を変えましょう。
- (4) 活着後、晴天日は2~3cmの浅水にして、分けつを促進しましょう。

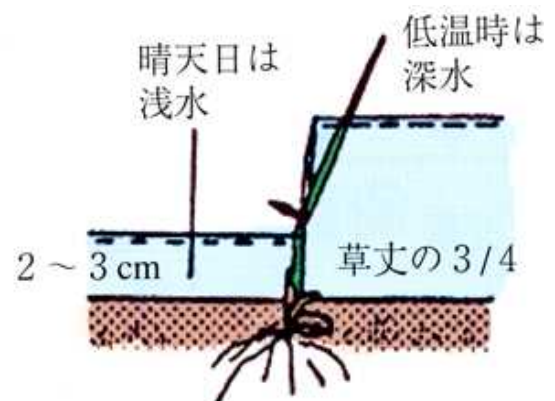


図 活着後の水管理